

# 市長の伊賀じまん



## 一 忍者と情報発信の歴史一

まちなかで忍者人形を見かけると、人形だとわかっていても、どきりとすることがありますね。今年も伊賀上野 NINJA フェスタの季節がやってきて、まちなかのいたるところに忍者が現れます。最近では、アメリカで「ニンジャ」という銘柄のフードプロセッサーまで販売されたそうです。

こういう忍者ブームは、一朝一夕にできたものではなく、このまちの先人たちが忍者という存在に着目して発信し続けてきた結果だといえます。

例えば、昭和 27 年に当時の上野市長中井徳次郎さんが伊賀上野世界こども博覧会を開催し、忍者を発信しました。博覧会の収支は厳しく、当時の市民の中には博覧会自体に否定的な意見もありましたが、忍者の文化はそれを越えて今につながっています。また、現在の忍者研究の基礎を作った元上野市長奥瀬平七郎さんは、あちこちへ講演にまわる中で、忍者の巻物を見せながら話をしていましたが、ついに一度も巻物を広げることなく聴衆を煙に巻いたという逸話があります。



▲市内にある建物に見られる虫籠窓。この建物は、現在は飲食店として用いられています。

◀市内にある住宅に見られる隠し階段。引き戸を閉めると、階段がそこにあることはわからなくなります。

この忍者という観光資源の発信力をしっかりと地元人間が受け止めて、誇りにし、また、このまちを元気にする源にもしていかなければなりません。

ちなみにまちなかには上野忍<sup>しのびちやう</sup>町というめずらしい町名があったり、町家の中に入ると“隠し階段”が見られたり、非常時には飛び出せる虫籠窓<sup>むしごもど</sup>と呼ばれる窓（試したことはありませんが、体当たりをすることはできるそうです。）があるということです。まだまだ謎はたくさんありそうです。皆さんで見つけていただいてはいかがでしょうか。

(伊賀市長 岡本 栄)

## 防災ねっと

### あんしん・防災ねっとに登録しましょう

「あんしん・防災ねっと」は、市内の防災、災害に関する情報を市民の皆さんに迅速にお伝えするために運用しているものです。携帯電話のインターネット機能を利用して災害時の緊急情報や避難所情報、夜間診療所情報などを閲覧できるほか、携帯電話のメールアドレスを登録して緊急情報を受け取ることができます。

#### ■メール配信情報

市内の気象警報の発表・解除、地震の震度情報、土砂災害危険度情報、避難勧告の発令・解除、避難勧告の対象地域、開設する避難所情報、国民保護情報（外国からの武力攻撃やテロなどに関する情報）、火災情報などの緊急情報のほか、各支所からのお知らせ、消費生活情報、外国人向け生活情報なども配信しています。

#### ■登録方法

※携帯電話(KDDI・ソフトバンク・NTT ドコモ)のメールアドレスのみ登録できます。

携帯電話のバーコード読み取り機能で右の QR コー

ドを読み取るか、「あんしん・防災ねっと」(<http://www.anshin-bousai.net/iga/>)に接続し、説明にしたがって登録してください。

また、おサイフケータイ機能を利用した登録機を本庁舎、各支所、(福)伊賀市社会福祉協議会（ふれあいプラザ）のほか、市内の各地区市民センターに設置しています。簡単に登録できますのでご利用ください。

なお、登録は無料ですが、メールの受信などに各携帯電話会社の通信料が発生します。

※迷惑メール防止機能を設定している場合は登録できませんので、「anshin-bousai.net」を受信できるドメインに指定してください。設定方法についての詳しくは各携帯電話会社へお問い合わせください。



▶ QR コード



【問い合わせ】

総合危機管理課

☎ 22-9640

FAX 24-0444

## 伊賀警察署だより



### 春の全国交通安全運動

【とき】 4月6日(日)～15日(火)

【運動の基本】 子どもと高齢者の交通事故防止

#### 【運動の重点】

1. 自転車の安全利用の促進
2. 全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底
3. 飲酒運転の根絶

平成25年中、伊賀警察署管内では3人が交通事故で亡くなりましたが、3人すべてが80歳以上の高齢者でした。

高齢者だけでなく、夕方夜間の歩行時や自転車に乗る際は、夜行反射材を必ず身につけましょう。

また、1月には飲酒運転に絡む死亡ひき逃げ事件が発生するなど、いまだに飲酒運転が後を絶ちません。

飲酒運転は絶対に許さないという思いを共有し、皆さんの力で悲惨な交通事故を防ぎましょう。

【問い合わせ】 伊賀警察署 ☎ 21-0110

名張警察署 ☎ 62-0110

## 公共交通を利用しましょう

便利な「合冊版時刻表」を  
ご利用ください!



市では、毎年春のダイヤ改正時期にあわせて、市内の鉄道路線をより便利にご利用いただくため、各鉄道路線の連絡時刻が分かるポケットサイズの時刻表を作成しています。

内容は、JR関西本線、草津線、伊賀鉄道、近鉄大阪線を利用するのに便利な乗り継ぎ時刻表や、大阪・名古屋・京都からのお帰りに便利な時刻も掲載しています。巻末には、上野コミュニティバス「しらさぎ」の時刻表付きです。

市役所本庁舎や各支所・各地区市民センター・上野市駅などで、4月7日から配布します。ぜひご利用ください。

#### 【問い合わせ】

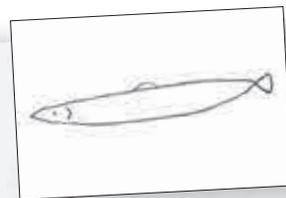
総合政策課

☎ 22-9663 FAX 22-9672



明日に向かって ～差別をなくしていくために～

### 魚の絵を描いてみると —人事課—



■このコラムは毎回いろいろなテーマで人権についてお話しています。

「今から、10秒間で魚の絵を描いてください。よーい、始め!」こう言われたら、あなたはどんな絵を描きますか?講演会の初めに講師の先生が言ったのですが、私は、どんな絵を描けばいいのかな?と思いながら、頭が左を向いた“さんま”のような長い魚を描きました。

描いた後に、周りの人とどんな絵を描いたかを見せ合いました。ヒレやウロコまで描いた人や、金魚やまぐろをイメージしたものなどさまざまなものがありましたが、10人中、8人が左を向いた絵、1人が右を向いた絵、1人は正面から見た絵で、正面から見た絵には、そんな描き方もあったのかと感心しました。

こうして魚の絵を描くと、9割程度の方は、左向きの絵を描くようです。どうしてこうなるのかは、いろいろな説があるようですが、私たちが身近で目にする図鑑の中の絵や、魚屋さんで並んでいるもの、

料理で出てくる魚などは、ほとんど左を向いていて、知らず知らずのうちに左を向いた魚のイメージが刷り込まれていることが一因としてあるようです。

魚の頭の向きがどちらでも問題はありませんが、私たちは日常生活の中で、知らず知らずのうちに誤った情報や知識を何の疑いもなく信じてしまうことがあります。例えば、人の噂話で「あの人は〇〇らしいよ」と聞いたことを、何となくそのまま信じ込んでしまっていることはないでしょうか。こうした“刷り込み”の中には、差別や偏見につながるものもあります。

差別や偏見につながる間違った“刷り込み”は、研修会への参加や正しい知識を学ぶことで、間違いや誤りに気づき、修正することができます。

市では人権問題地区別懇談会や講演会などの学習会を開いていますが、こうした学習会に参加することを通して、間違った“刷り込み”に気づく感性を磨いていきたいものです。

■ご意見などは人権政策・男女共同参画課 ☎ 47-1286 FAX 47-1288 ✉ jinken-danjo@city.iga.lg.jp へ